

## 平成22年度特別支援専門部活動報告

### <新庄養護学校の実践について>

#### 1 実践にあたって

Knok knok トレーニングキット・ペグボードを購入し、高等部重複学級の生徒を中心に自立活動でビジョントレーニングの実践をした。

- 目的 ① 注視(一点をしり見つめる力)を養う  
② 目と手の協応を高める  
③ 指先の感覚や運動を養う

#### 2 活動より



穴の形をよく見ながら、カラフルな木製ペグをボードから指先でつまんで抜き取ったり、移動させたり、片手だけで指先と手のひらの間を移動させたり、回転させたりします。難易度の違う3色の透明シートを回転させながら生徒に合わせて様々な課題にチャレンジしました。

### <鶴岡養護学校高等部の実践について> [面取り面のやすりがけの補助具の制作]

#### 1 実践にあたって

木工班のミニプランターの材料となる角材は、面取りをした後やすりがけ作業を行っていた。材料の縦と横の面のやすりがけは、従来から固定枠を使用しているが、面取り面については1本ずつの作業となるため作業効率に欠けるところがあった。

そこで、面取り面をそろえて一度に4本のやすりがけができるように補助具を制作した。制作に当たってのポイントは以下の点である。

- ・45度に傾斜した状態で、4本の角材を並べてセットできるようにする。
- ・セットしやすく、且つ角材をしっかり固定できるように角材のサイズに合わせた幅にする。



#### 2 活動より

これまではルーターを使って面取りしていたが、その後のやすりのかけ方によっては面取りした部分の角が丸くなってしまっていた。この補助具を使用することにより、作業効率が良くなったことに加えて、面取り面の角を残しつつ、やすりがけを同時に行うことができ面取りした部分の仕上がりがとてもきれいにできるようになった。